

■ まちの話題

決意を新たに地域の安全を誓う —市消防団出初式—

1月4日、市民スポーツ会館で市消防団出初式が行われ、消防団員など約280人が参加し、地域の安全を誓い合いました。式では、橋本市長、善方団長の訓示をはじめ、団員の服装などを確認する通常点検が行われました。また、管轄地区内で長期間火災のなかった班への表彰と、多年にわたり消防団員を多数就労し、消防団業務にご協力をいただいている「株式会社ミウラ」と「赤井田造園土木株式会社」に感謝状が贈られました。



無火災班表彰 代表受領：第7分団大谷地班

一筆に思いを込めて —第57回新春書道展「席書大会」—

1月6日、中央体育館で席書大会が行われ、一次審査を通過した小・中学生195人が、それぞれの思いを込めて作品を書き上げました。作品は、1月20日・21日の2日間、中央公民館に展示され、多くの人を訪れていました。



最後まで丁寧に書き上げます

(株)ゼンリン×須賀川市 —災害時の地図の供給などに関する協定を締結—

1月11日、「災害時における地図製品等の供給等に関する協定締結式」が行われ、橋本市長と株式会社ゼンリン郡山営業所の横沢厚所長が協定を締結しました。この協定は、市災害対策本部で災害対応にあたる際に、住宅地図などを無償貸与・供給いただくもので、これにより、災害発生時に即時に地図などを利用できる体制が整い、市民の安全・安心に大きく役立ちます。



握手を交わす横沢所長(左)と橋本市長

地域の伝統行事を学ぶ —小正月だんごさし体験教室—



願いを込めて飾ります

1月12日、西袋公民館でだんごさし体験教室が行われ、西袋一小、西袋二小の2学年児童、西袋小学校地区老人クラブ、知恵袋の会、ふくしま四人会が参加しました。児童は、だんごさしの由来を聞き、それぞれの願いを込めながら、ミズキの木に団子や飾りせんべいを付けました。



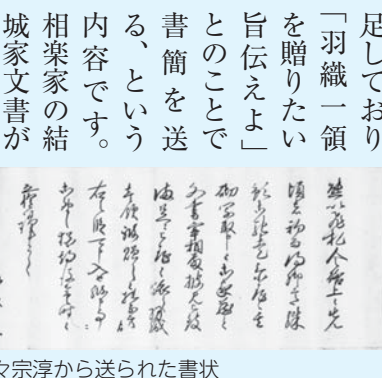
市内の相楽家に伝わる南北朝時代の古文書「白河結城家文書」に付随し、重要文化財の一部である佐々宗淳書状は、結城家文書の来歴を裏付ける重要な資料です。佐々介三郎宗淳は、「水戸黄門」として知られる徳川光圀の家臣で、「助さん」のモデル

ふるさとの遺産(282)
重要文化財
白河結城家文書(30通)
附四月八日佐々宗淳書状
その2

となつた人物です。南朝の忠臣新田氏を先祖に持つ光圀は、北朝は南朝の流れから分かれたもので南朝が正統だとする立場から、介三郎ら家臣を全国に派遣して古文書を調査し、歴史書「大日本史」にまとめる事業を行いました(このことが水戸黄門全国漫遊物語のモチーフとなります)。南朝や北畠親房の動きをうかがえる相楽家の文書の存在を知った光圀は、天和3年(1683)3月頃、介三郎を須賀川に派遣し調査に当たらせ

ます。佐々宗淳書状は、相楽家当主に対しこの調査で世話になった礼を述べ、光圀が満

足しており「羽織一領を贈りたい旨伝えよ」とのことです。書簡を送る、という内容です。相楽家の結城家文書が南北朝時代の原本であると判明した際、有力な判断材料となつたこの書状は、結城家文書の価値を高めるものとして併せて重要文化財となりました。



相楽家に佐々宗淳から送られた書状

きらりんこサークル

代表者 鈴木 久美子
会員 16人
連絡先 ☎(86)9010
活動日 毎月1~2回 主に金曜日
活動場所 主に小塩江公民館

私たちのサークルは、小塩江公民館の事業「きらりんこタイム」に参加した人たちが集まって発足しました。会員は子育て世代が多く、子どもを遊ばせながら活動に参加しています。月1回、趣味を楽しむことでリフレッシュでき、気持ちも楽になります。また、子育てに関する情報を交換しています。活動内容は多岐にわたり、お茶会や陶芸教室、デコ巻きずしやリース作り、さらにはDIYやアロマ、エステなども学んでいます。講師は、外部の方を招くほかに、会員が資格や特技を生かして務めることもあります。また、このサークルで経験したことを基に、別のところで何かを始めるきっかけにもなっています。このサークルには、様々な地域から会員が集まっています。興味のある方、一緒に楽しく活動してみませんか。 あおば町 鈴木 久美子

健康(へんこ)課 ☎(88)8123

「ひきこもり」は 様々な理由から仕事や学校に行けず、家族以外とほとんど交流がなく、6か月以上続けた自宅に閉じこもっている状態をいいます。どこに何を相談したらよいか分からないときは、一人で悩まず、身近な相談機関に相談しませんか。本人からの相談だけでなく、家族からの相談も可能です。できることを一緒に考えていきましょう。

ひきこもりに関する相談窓口

▼県中保健福祉事務所 ☎(75)7811 ※「家族教室」講演会も実施

▼県ひきこもり支援センター ☎024(546)0006 Eメール soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp

電話やメールによる相談(火)土曜日 午前9時30分~午後5時30分 ※祝日を除く

▼健康づくり課 健康相談(月)金曜日 午前8時30分~午後5時15分 ※祝日を除く

話すことで気付くこともあります。ぜひご相談ください。

健康(へんこ)課 ☎(88)8123

広報紙に登場してみませんか

サークルとわたし 市内で活動しているサークルを紹介し、活動内容、楽しかった思い出など、内容は自由です。私のふるさと 市内にお住まいで、県外出身の人を紹介し、ふるさとの思い出や行事、須賀川に住んで感じていることなど、自由に寄稿ください。また、お知り合いなどで、該当する人がいましたら、ぜひご紹介ください。

秘書広報課 ☎(88)9112

健康(へんこ)課 ☎(88)8123

「ひきこもり」は 様々な理由から仕事や学校に行けず、家族以外とほとんど交流がなく、6か月以上続けた自宅に閉じこもっている状態をいいます。どこに何を相談したらよいか分からないときは、一人で悩まず、身近な相談機関に相談しませんか。本人からの相談だけでなく、家族からの相談も可能です。できることを一緒に考えていきましょう。

ひきこもりに関する相談窓口

▼県中保健福祉事務所 ☎(75)7811 ※「家族教室」講演会も実施

▼県ひきこもり支援センター ☎024(546)0006 Eメール soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp

電話やメールによる相談(火)土曜日 午前9時30分~午後5時30分 ※祝日を除く

▼健康づくり課 健康相談(月)金曜日 午前8時30分~午後5時15分 ※祝日を除く

話すことで気付くこともあります。ぜひご相談ください。

健康(へんこ)課 ☎(88)8123

すこやか通信 ひきこもり 一人で悩んでいませんか?

「ひきこもり」は 様々な理由から仕事や学校に行けず、家族以外とほとんど交流がなく、6か月以上続けた自宅に閉じこもっている状態をいいます。どこに何を相談したらよいか分からないときは、一人で悩まず、身近な相談機関に相談しませんか。本人からの相談だけでなく、家族からの相談も可能です。できることを一緒に考えていきましょう。

ひきこもりに関する相談窓口

▼県中保健福祉事務所 ☎(75)7811 ※「家族教室」講演会も実施

▼県ひきこもり支援センター ☎024(546)0006 Eメール soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp

電話やメールによる相談(火)土曜日 午前9時30分~午後5時30分 ※祝日を除く

▼健康づくり課 健康相談(月)金曜日 午前8時30分~午後5時15分 ※祝日を除く

話すことで気付くこともあります。ぜひご相談ください。

健康(へんこ)課 ☎(88)8123